# めいろうこどもえん　10月園だより

## ２０２３年度　年主題〈つながって～今、わたしを生きる～〉

**0･1･2歳児10月 主題「ひろがる」**

*月のねがい*

◎保育者と一緒にさんびかを歌おうとする(0)◎全身を使って繰り返し遊ぶ(0)◎思っていること、見たことを身体で表現しようとする(0)◎保育者や友だちと一緒に祈りさんびする(1.2)◎友だちとの関わりを楽しみ、様々なことを共有する(1.2)◎季節の移り変わりを全身で感じる(1.2)

**3･4･5歳児10月 主題　「みんなちがってみんないい」**

*月のねがい*

◎神さまからいただいている一人一人の賜物が大切にされる(3)◎好きな遊びをじっくり繰り返す中で、試したり、自分なりに工夫してみようとする(3)◎戸外で身体を動かすことも楽しみ、友だちの姿を見ながら自分もやってみようと思う(3)◎神さまが一人一人を愛し養って下さっていることを知り、喜び感謝する(4.5)◎一人一人その人(子)らしさに気づいて、おもしろさや楽しさ、素晴らしさまた難しさも感じ合う◎空の美しさや風の気持ちよさを感じながら、心身を伸びやかに動かしてすごす(4.5)

## 今月の聖句　喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

Ⅱコリント書9:7

神さまはすべての人間に自由意志をお与えになりました。その自由意思によって、人間が自分のもっているものをどのように使うかを自由に決められます。ある人は、自分のもっているもの（本当は神さまから預かっているもの）に飽き足りず、他人のものも奪おうとします。またある人は、自分のもっているものを、他の人に分け与えようとします。不思議なもので、奪おうとすれば、いつまでたっても満ち足りることはありません。ところが、進んで与えれば、心に平安が訪れます。もちろん、与える人のなかには、「しょうがないな。今度だけだよ」と、たいへん迷惑そうに応じる人がいます。「何か後で、見返りがあるのかな」と露骨に口にする人もいます。そういう人は喜んで与える人ではないので、どんなに大金を支払っても、またどんなに小額でも見返りがなければ損をしたと思うだけでしょう。ところで、自分のもっているものとは、お金や富だけではなく、自分の能力、時間も含みます。世の中には自ら進んで、見ず知らずのご老人や障害をもたれている方を訪問して世話をしたり、道路脇や公園のゴミを拾い集めたりしている人がいます。こういう人は金銭的に無報酬でも働くのです。しかも、喜んで・・・。報酬は、物質的なものではなく目には見えません。報酬は、神さまに愛され祝福を受けることです。　協力牧師　池田基宣

～おすもう大会～

～うし見学～

## １０月の行事予定

| | |
|---|---|
| 1日（日） | 運動会予備日 |
| 2日（月） | 振替休日（1号：弁当） |
| 6日（金） | 実りの秋パーティー |
| 11日（水） | 牛見学 |
| 17日（火） | すみれ組試食会 |
| 26日（木） | すもう大会(年中長）弁当日 |
| 27日（金） | すもう大会（2・3歳児） |

## １１月の行事予定

| | |
|---|---|
| 6日（月） | 学校へ行こう(年長児) |
| 7日（火） | 10，11月生まれ誕生会 |
| 〃 | 給食試食会（こすもす） |
| 10日（金） | 秋の一日遠足･弁当日 |
| 11日（土） | 役員会 |
| 22日（水） | ｸﾘｽﾏｽ会予行･弁当日 |
| 25日（土） | 入園説明会（11:00～） |
| 29日（水） | 給食バイキング |

## 運動会頑張ったね！！

先日の運動会は、お忙しい中たくさんの応援をいただきありがとうございました。4年ぶりのお弁当持参、制限なしの運動会。閉会式は少し暑かったですが、子どもたちが最後まで頑張っていたことに大きな成長を感じました。お弁当作りも大変だったことと思いますが、子どもたちは家族で食べるお弁当に嬉しさいっぱいだったことと思います。

0，1歳児さんは、お昼寝の後、目覚まし時計のように毎日開会式の体操を流してみんなノリノリで体を動かし本番に望みました。テンポの速い曲でしたが、途中のかけ声の「ワッショイ！」は、本当にかわいかったです。

2歳児さんたちは、かけっこの時「腕を振って～！！」と言うと、最初は手を振ってバイバイしていました。「こうやって腕を振ると足が速くなるんだよ！」と伝えると、家でも練習をしたのだとか。その後は、毎回「こうやって腕を振ったよ！速かったでしょ！」と 、競争にも目覚めていました。何気ない一言で子どもたちの意識が変わるんですね。 国旗掲揚も子どもたちと練習をしたのですが、2歳児さんは、家で「ぽっきにちゅうごく」って言ったら、帽子を脱ぐ！」といって練習をしていたそうです。

5歳児さんは、念願のマーチングでした。太鼓を支えるベルトを身につけると首が痛いのですが、最後まで背中を伸ばして頑張っていました。最初は、リズムが合わなくて苦戦を強いられていた子どもたちでしたが、できるようになると「太鼓が楽しい！」と笑顔で登園をしていたと聞きました。難しいことに挑戦して、「できた！」という達成感を味わう事こそが、行事の醍醐味であり、大切さを痛感します。マーチングを後ろから見ていた年中児さんは、もう今から来年太鼓を持つことを楽しみにしています。しっかりと、年長児さんのかっこいい背中を見ています。きっと、来年は、そのかっこいい姿を受け継いでいることでしょう。

今月も行事が盛りだくさんです。みんなで一つ一つ楽しみながら過ごしていきます！！　　森山

～実りの秋パーティ～

～試食会～

## 「おもしろさ」が子どもを育てる

しばらくなりを潜めていた台風。ここに来て十四号が発生しました。昨年の同時期には十八号だったので、今年は少なめでしょうか。ここ数日好天が続く中で、一段と朝夕が涼しく感じられるようになりました。まだまだこれから大きな台風が来ないとも限りませんね。何はともあれ、好天の中で無事運動会が実施できて感謝でした。設営から撤収、そして温かなご声援とお弁当のご協力を心から感謝申し上げます。

皆さんは幼い頃、自分にとっての「おもしろいもの」「おもしろいこと」は何でしたか？虫捕り、花摘み、ゲーム、木登り、人形遊び、ごっこ遊び、絵本、歌、楽器･･･。様々な個人的な「おもしろさ」が、大人になった今、職業や趣味などに多少なりとも引き継がれているかもしれませんね。

ご存じのとおり、乳幼児の成長に「遊び」は欠かせないものです。遊びは、「おもしろさ」を追求する活動とも言えます。遊びを通して発達する子どもは、「おもしろさ」を探求する存在ではないでしょうか。『子どもの中に形成される「おもしろさ」には三種類あり、それらには一定の順序性･法則性を持ちながら発達することを認識してほしい』と山梨大学の加藤繁美先生が指摘されています。　一つは、知的探究心を基にした「認知的おもしろさ」の世界です。ダンゴムシに興味を持った三歳児が、ひたすら採集し観察を続け、泥団子作りの世界を知った四歳児が、固い光った泥団子を作るべく探求していく姿に見られるものです。　もう一つは、愛着と共感の感覚を基にした「情動的おもしろさ」の世界です。保護者や保育者にあやされる「心地よさ」から始まる情動は、やがて絵本や音楽への世界へと導かれていきます。物語や音の世界に心を震わせながら共感的な知性が発達していきます。そして、この二種類の「おもしろさ」を自分の中で統合し、ごっこ遊びや秘密基地づくりに夢中になったりする「創造的おもしろさ」の世界を生きるようになるとのことです。

子どもが自分の見つけた遊びの世界に入り込み、夢中になっているときに、大変機嫌のよい姿に気付かされます。表情は明るく、真剣で、言葉は優しく聞こえ、満足感を見ることができます。しかし、大人は遊びの形や展開に目が向きがちです。子どもの未発達で未熟な部分に目が向かい、大人に近づくことを良しとする発達観から来るものだと思います。私たちは、子どもは「楽しい」「嬉しい」「おもしろい」という感情が、思考や行動の最初にあるということを忘れてしまう生き物なのです。それ故、ダンディーマンモスのマジックで、耳が大きくなったり、お尻から百円玉が出てくる時に見せる驚愕の表情に感動するわけです。

子どもたちがもっとも活発な活動を展開する実りの時期になりました。ゆっくりと周囲の自然を観察しながら落ち着いた時間を満喫したいと思います。大きな行事の運動会を迎えますが、何よりこどもたちのしたいことを通して、いのちはずむ時となることでしょう。早寝･早起き･朝ごはんをよろしくお願いします。

園長

## 免疫力を高める４大習慣！

暑い夏が終わり、最近では朝晩がだいぶ涼しくなってきました。新型コロナ感染症やインフルエンザなどに加え、手足口病や、ヘルパンギーナなど、次々と感染症が広がっているようです。コロナ禍で衛生環境が良くなった反面、免疫力も弱くなってきているようです。　では、子どもたちに免疫力を付けるには、どんなことを意識して生活すると良いのでしょうか。一緒に考えていただけると幸いです。

### 〔Ⅰ〕タンパク質で筋肉を付ける

白血球に免疫を担当する細胞が集まっています。体温が上がると血流が良くなり白血球が体中を巡り免疫力が発揮されます。筋肉は常にエネルギーを代謝して熱を作りますですからタンパク質をしっかりとって筋肉を付けることが大切です。

### 〔Ⅱ〕いろんなおかずを食べる

”まごわやさしい”

日本の昔からある健康的な食生活の合い言葉です。いろんな食材を取り込み、免疫力を高めましょう 。

### 〔Ⅲ〕太陽の光を浴びる

コロナ禍で外遊びの機会が減ってきました。それにより太陽に当たらない子どもも増えてきました。

太陽の光（紫外線）を３０分程度の散歩などをして浴びることで、〔ビタミンD〕が体内で自ら合成できるのです。

ビタミンDは自己免疫疾患、感染症の発症予防に関係するのです。朝夕の暑くない時間帯に、散歩などの習慣を付けておくと免疫も上がる体質になるようです。

### 〔Ⅳ〕睡眠を十分にとる

睡眠不足は免疫力を低下させます。早稲田大学人間科学部の前橋明教授によると、たくさん体を動かし、睡眠のリズムが整えば、自律神経の働きがよくなって、低体温などの体温異常が減少するといいます。

しっかりと体を動かして、たっぷりと睡眠をとることで体温が安定し、免疫力が高まります。